

# 第 161 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 30 年 10 月 24 日（水） 13：30～16：54

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 佐々木部長（欠席） 古森課長 湯浅室長 市原課長 牛尾室長

村木課長（代理：河野係長） 長見所長 外浦課長 村瀧室長

原田分室長 佐々尾分室長（欠席） 三浦分室長 小松分室長（欠席）

三浦社会教育主事

書記：日ノ原係長 皆田主任主事

## 議事

### 1 教育長報告

### 2 議題

(1) 浜田市スポーツ推進審議会の委員の選任について（資料 1）

(2) 平成 30 年度第 1 回総合教育会議の議題について（資料 2）

(3) 平成 31 年度当初予算要求の骨子について（資料 3）

(4) 教育委員会自己点検・評価について（資料 4）

### 3 部長・課長等報告事項

### 4 その他

(1) 平成 30 年度浜田市市民憲章推進大会の開催について（お知らせ）  
（資料 16）

(2) 平成 30 年度教育委員研修について

(3) その他

### 1 教育長報告

石本教育長

小中学校も 2 学期が始まり、約 2 か月が経過している。気候的にはすっかり秋らしくなり、過ごしやすい時期になった。この 2 か月の間、学校では運動会や体育祭の準備、それから中学校では新人戦に向けての取組や修学旅行といったものがあり、慌ただしい 2 か月間であったと感じている。今からは気温も低くなったし、行事としてはあと学習発表会や文化祭が残っているが、少し落ち着いて勉強ができるのではという気がしている。

それではお配りしている資料に基づいて、この 1 か月間を振り返る。

① 10 月 1 日（月）10 月 1 日付人事異動辞令交付式（教育長室）

平成 30 年度浜田市表彰・表彰式（議会全員協議会室）

市職員永年勤続表彰・表彰式（議会全員協議会室）

全国専門学校サッカー選手権出場市長表敬（庁議室）

前回の定例教育委員会は 9 月 26 日に開催した。その後、10 月 1 日には人事異動があった。教育委員会関係の職員 4 人が市長部局等、他の部局へ異動となり、新たに 3 人の職員が教育委員会へ来られたということである。差し引き 1 名減ということであるが、これは市長部局に契約管理課を新設することに伴い、教育部の経理部門を市長部局に移管することによる 1 名減員である。

それから同日、毎年行われている浜田市表彰の表彰式があった。教育関係は資料にある 6 名の方が教育文化功労ということであるが、これは内規があり、20 年以上スポーツ推進委員をされた方が今回該当ということである。3 番目の平野さん、4 番目の横山さんについては公民館の館長と主事であり、15 年以上勤務をされた方ということである。表彰を受けている。それから下段の森脇さんと中村さんの 2 名は学校医ということで、学校医については 20 年以上で表彰ということになっている方々である。

平素から教育委員会は大変お世話になっているが、またこの機会に改めてお礼等を申し上げたいと思ったところである。

それからその下の市職員永年勤続表彰・表彰式である。これは浜田市で 30 年勤続の方の表彰である。今回は浜田市全体で 5 名の方がおられたが、その内の 1 人、教育委員会の村木課長が 30 年勤続ということである。表彰を受けている。

それから同じく同日、三隅町にあるリハビリテーションカレッジ島根のサッカー部が、専門学校のスポーツ大会、サッカー大会に出場するということが市長表敬された。4 年前にも出られたことがある様で、今回は 2 回目の出場と聞いたところである。リーグ戦であったらしいが、結果は勝ち上がれずに敗退したということを知っている。

- ② 10 月 3 日（水）浜田市中学校新人総合体育大会（バスケット、柔道、ソフトテニス、卓球、バレーボール、野球、サッカー ～ 4 日）

算数授業改善推進校公開授業（周布小）

第 49 回ジュニアオリンピック陸上競技大会出場市長表敬（庁議室）

10 月 3 日以降のところ、中学校の新人戦が始まった。例年はだいたいほとんど回っているのだが、今年は他の業務もあり、結局野球しか行けなかった。結果的に野球の開会式に出席させていただいた。

それから同日、算数授業改善推進校の公開授業ということで、周布小学校が県の指定を受けて 3 年目になる。年間 3 回公開授業をするのだが、今年度 2 回目の授業があった。浜田市内、市外からたくさんの先生方がお見えになり、授業を見られた後、熱心に研究や協議をし、授業についてのご意見をいただいたところである。

それからその下に、第 49 回ジュニアオリンピック陸上競技大会出場市長表敬というのがある。それぞれ 4 名の選手がジュニアオリンピックに参加している。毎年だいたい 3 名から 5 名くらいの選手が県の代表ということで出場している。

③ 10 月 7 日（日）第 50 回浜田市美術展表彰式（世界こども美術館）

今年が 50 回目という記念の年であった。これまでの 50 年を振り返って、市長を中心に書道や絵画、それから写真といった部門の代表の方とトークショーをされたということもあったが、50 回を記念して、今年はそれぞれの部門でワークショップを開かれ、賑やかな浜田市美術展になったと思っている。

④ 10 月 8 日（月）第 12 回浜田市総合スポーツ大会開会式（県立体育館）

この日には浜田ジュニア陸上競技大会もあったが、これが 30 回の記念大会ということで、現在、200 メートルの日本記録保持者である末續慎吾さんがお見えになり、小中学生と一緒に走られた。単に走られるのではなく、小学校 4 から 6 年生の 1 位の選手と 50 メートルを走られた。40 メートルくらいから加速され、一気に離されていた。やはり、当たり前であるが瞬発力が全く違う。中学生の 1 位の選手と 100 メートルを走られた時には、結構競っていたが、途中で焦ってギアを上げておられた。下が全天候型のグラウンドではないためスパイクが引っ掛からないということもあり、11 秒 3 くらいの記録であったが、流しながらその記録であるから、やはりすごいと感じた。

⑤ 10月10日(水)笠柄地下通路防犯カメラ運用開始式(笠柄町現地)

笠柄に国道9号線の下をくぐって行くアンダーの地下道路があるが、そこの人通りが少なく、街灯が点いていて結構明るいのだが、人が通らないため歩くのに少し不安がある。以前から防犯カメラを付けてほしいという要望があったが、今年やっと叶い、カメラが設置された運用開始式というものがあり、雲雀丘小学校の6年生が全員来てくれて、その運用をお祝いした。

⑥ 10月14日(日)第49回島根県ことばを育てる親の会三隅大会(三隅小)

第71回島根県科学作品展表彰式(ふれあいジムかなぎ)

島根県ことばを育てる親の会三隅大会が三隅小で行われた。3年前に第一中学校で浜田大会が行われている。これは県内の親の会の支部があるところが持ち回りで県大会を開いているのだが、他の市町村はだいたい市に1つであるが、浜田市の場合は浜田と三隅が合併しておらず、それぞれに親の会があるため、3年前は浜田でやったが、今回は三隅で行われたということである。

親の会の活動方針がその会の中で色々あったが、行政に対する要望活動といったことを1つの柱にしており、もう一方で、地域の行事や学校の行事には積極的に参加をしようというのが、親の会の目標として掲げられていた。素晴らしい目標であるなという思いであるが、色々なことに参加することによって、ネットワークを広げて自分たちの活動を理解していただくという様な取組をしたいということで、去年からそういった方針を立てておられるという説明があったところである。

それから同日、第71回島根県科学作品展表彰式があった。展示そのものもその前の13、14日の2日間、ふれあいジムかなぎであり、その後、表彰式があったのだが、これは浜田、江津地区に回ってくるのが10年に1回だそうである。10年に1回、回ってきて、なおかつ浜田、江津地区ということで、前回の10年前の時には江津地区で開かれて今回浜田地区ということであったため、実質、県大会は20年に1回しか回って来ないという様な話をされていた。偶然そういったことに遭遇することができたのだが、見たところ同じ題材を取り上げて、小学

校1年生から6年生までの6年間、テーマや視点を変えながら同じものを研究するというに取り組んでいる児童がたくさんいたし、中学校でも毎年同じテーマで、段々進化するというか、深い内容になるという様な取組がたくさんあるのが最近の傾向であるという話を聞いた。確かに、3年間同じことを研究している子どもも浜田にいた。

夏休みの宿題で科学作品展へ応募する数は減ってきているのかもしれないが、頑張っている子どもは頑張っているなという気がしたし、とても1週間ではできないだろうというものがたくさんあった。丸1日やっても1か月くらいかかるのではという様な、いつやったのだろうという様な素晴らしい展示もあり、おそらく夏休みに入る前くらいから取組をスタートしていたのかという気がした。

⑦ 10月17日（水）第13回浜田市小学校体操競技大会（県立体育館）

教育委員方にもご出席いただいた。大会のあいさつの時にも少しお話をさせていただいたが、こういった全ての小学校が参加する、また計算したところ、選手として4年生以上の児童が全児童の3分の1以上の参加であったが、そういった規模の大会というのは県内では浜田市だけということであった。体操のまち浜田ということを強調しているのも、是非、この大会を続けていきたいと思ったし、年々トップの選手のレベルはかなり上がっているという気がしている。

ただ、小学校であれだけ一生懸命体操をしているのだが、中学校に行った時に体操部に入る子どもはほんのわずかであるので、もう少しその辺のところ中学校の部活動につながれば良いかという感想をもったところである。

⑧ 10月18日（木）平成30年度中国地区都市教育長会定期総会並びに研究協議会（～19日・下松市）

文部科学省から来られて、まだ決定していないので、来年度の予算確保のためにこういった要望をしたといった様な内容であったが、やはり国の方でも特別支援教育にはかなりの予算をつぎ込んで充実させていくといった様な話をされておられたし、今年多くの話題が上がったエアコンの設置については、来年度の予算ということではなく、今年度の補正予算ですでに予算を確保するという様な話があったところである。

併せて、ブロック塀等の危険個所の対応についても今年度の補正予算で対応したいという話があったところである。

- ⑨ 10月21日（日）人権・同和問題を考える県民の集い（江津市総合市民センター）

江津市総合市民センター、ミルキーウェイホールで行われた。資料に書いてある様に、元フリーアナウンサーの道志真弓さんが「笑顔の戦士～生きているって幸せ～」という演題で講演をされた。道志さんには、今は亡くなっているが、重い障がいがある子どもさんがおられた。ご本人は物語と付けておられるが、生まれてから8年間の記録と言うか、そういったお話をされた。非常に感動深いお話で、生きることの喜びであるとか命の大切さといったものが、皆に伝わる様な素晴らしい講演であった。何度も目頭が熱くなる様な場面もあり、皆さんが感動しておられて、良い時間を過ごしたということで帰られたと思う。

- ⑩ 10月22日（月）平成30年度浜田市教育委員会ボランティア表彰・表彰式（旭小）

- ⑪ 10月24日（水）平成30年度浜田市教育委員会ボランティア表彰・表彰式（周布小）

それぞれ旭小学校と周布小学校へ行き、今年度の教育委員会ボランティア表彰と表彰式を行ったところである。それから来週、三階小学校に行き、このボランティア表彰の表彰式を行う予定としている。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

#### 質疑応答

宇津委員

10月17日に県教委社会教育課長との協議となっているが、これは派遣社会教育主事等の派遣に関わることであるのか。差し支えなければお聞きしたい。

石本教育長

毎年この時期に社会教育課長が来られ、現在、派遣ということで2名の先生に来ていただいているが、来年度以降の浜田市の考え方はどうなのかという、その辺の確認で来られる。現状を維持してほしいという願いをしたところである。今は中々、社会教育主事の資格を持った先生が少ないという現状がある。各学校も回られて、校長も先生方に資格を取る様にとお願いをして歩

いておられるが、夏休みではあるが、現場を離れて4週間ばかり広島大学へ行かなければ資格が取れないため、その辺のところではそれだけの時間を要すると、夏休み中は研修が多いため、そういったことへの影響があったりということで受けられる方が少なく困っているという状況がある。県としてもその辺の対応をどうするのかということに苦勞しておられて、その対応の1つとして、再任用の先生にも派遣の社会教育主事になってもらうという方法が3年くらい前に出されて、浜田市にも小川先生に再任用で来ていただいているという状況である。そういった話を1時間ほどさせていただいた。

藤本委員

10月14日の島根県ことばを育てる親の会のご報告があったが、このことばを育てる親の会というのは分かる様な分からない様な気がする。どういうものなのか。

石本教育長

通級の学級が、中学校であれば三隅中学校と第一中学校、小学校であれば松原小学校と三隅小学校にあるのだが、基本的にはそこに通っておられる子どもの親御さんが集まって会を作っておられる。通級や特別支援教育の充実に向けた行政への色々な要望であったり、療育キャンプといった様な子どもたちを集めての行事もされておられる様な団体である。

藤本委員

承知した。

石本教育長

忘れていたが、1番下に要望書の写しが配ってあると思う。これは教育委員方にも配っている。1つは公立幼稚園のPTA連合会からの要望である。若干、前回の時に中身のさわりの部分だけをお話したが、9月12日にいただいた要望である。詳しくは説明しないが、今度幼稚園の訪問に行く。その時に園長先生方からその要望もあるかもしれないし、金本委員は運動会に行かれた時にこういった話が園長先生からあったと聞いた。大変申し訳なかった。こういった内容の要望をいただいているので、またお目通し願う。

併せて、10月16日のつい最近であるが、浜田市の校長会、小学校の校長会、中学校の校長会の3つの団体連名で要望をいただいている。これも毎年この時期に要望をいただいております、いわゆる教育条件に関する要望というのはこれであるが、これとは別に来年度予算に対する要望というものも別にいただいている。それは細かいため今日はお配りしていないが、教育条件に関する要望については項目だけのところであるが、そこに挙がっている。こ

れもお目通しをいただければと思う。よろしく願います。

こういったものを配って教育委員方にお伝えしなければならなかったが、今までお配りしておらず大変申し訳なかった。今日配るだけであるが、お目通しよろしく願いたい。その他は良いか。

各委員

特になし。

石本教育長

今日は最後のところで自己点検・自己評価について委員方にご意見をいただくのに少しお時間がかかるかと思うので、よろしく願いたい。

例年であれば、8月の定例会で中身について委員方に訂正していただいて、9月の議会に報告するという流れであったが、今年度は中身が十分に精査されていなかったということで、時間をいただき少し見直しをさせていただいた。そういった関係で、2か月遅れて今日の定例会になったこと、それから議会への提出が12月の議会にずれ込んだといった点についてはお詫びを申し上げたい。今日の最後のところでまた、よろしく願いたいと思う。

## 2 議題

### (1) 浜田市スポーツ推進審議会の委員の選任について（資料1）

村木課長

（代理：河野係長）

10名の方の選出について案で挙げさせてもらっている。このスポーツ推進審議会委員は、今年2月末で任期が切れており、12月になろうかと思うが、スポーツ施設の再設置整備計画の方針についてスポーツ推進審議会委員へ方針の説明をしたいと考えており、その関係で平成30年12月の委嘱をした日から2年間の任期である。メンバーは、1番上の浜田市校長会からの川田先生が変わっておられるが、他の9名の方は以前と全く同じメンバーである。答申も出していただいて、だいたいその辺の中身も知っておられると思っているので、適任ではと考えている。

石本教育長

ただいま説明があった様に、委員方については1番上の川田英樹さん以外は前回からの継続ということである。スポーツ施設の再編等の諮問をして、答申をいただいたメンバーの方々が残られたといった様な説明をいただいた。この件について何か質問等あるか。

私から1点良いか。自治区の代表というのは各自治区から推薦いただいている方だと思うのだが、前回と同じということは、また今回も自治区に確認をして了解をいただいたということか。



村木課長 (代理：河野係長)	そうである。
石本教育長	承知した。 特に意見がない様なら、ここにある案で決定するという ことで良いか。
各委員	全会一致で承認。
石本教育長	ありがとうございました。

(2) 平成 30 年度第 1 回総合教育会議の議題について (資料 2)

日ノ原係長	平成 27 年度から開催されている総合教育会議についてである。内容については平成 27 年度の改正前からあった市長と教育委員方の意見交換に代わるものという位置付けで、毎年だいたい 1 回程度実施の方向としてこれまで行っている。平成 29 年度と平成 28 年度についても 2 月に開催している。
-------	---

テーマとしては参考として資料の一番下に掲載している。平成 29 年度については、例年と少し異なり、市長が 2 期目に入られたばかりということもあったため、1 期 4 年を振り返っての教育行政の総括及び今後 4 年間の重点的な取組方針についてということテーマとして、実際の中身としては学力向上、ふるさと郷育推進、浜田開府 400 年記念事業について市長が話をされ、意見交換を行ったところである。②として、教職員人事権の移譲問題に係る意見交換を行っている。

またここには触れていないが、平成 28 年度においては中高一貫教育について、学校施設の整備について、また教育における元気な浜田と家庭教育、それから歴史資料館の 5 テーマについて意見交換をしているところである。

本日は真ん中どころのテーマということで、今年度の総合教育会議のテーマについて(1)にある様に、教育委員会からテーマを定めて意見交換や協議を行うのか、あるいは(2)の様に市長から提起されたテーマを協議、調整するのか、(3)の様に具体的にテーマを設けず教育行政全般について意見を出し合うという形で進めていくのかということと、今まではだいたい(1)のみであったり、(1)と(2)をミックスさせたりとか、色々な方法を取ってきているが、今年度についてはどういった形で進めていけば良いかということについて今回お諮りしたく提出している。

石本教育長	今、提案があった様に、資料の 3 のテーマについて今日ご審議
-------	--------------------------------

いただきたいということである。3つのやり方が書いてある。(1)教育委員会から提起したテーマを協議、調整する、(2)市長から提起されたテーマを協議、検討する、(3)テーマは設定せず、教育行政全般について、それぞれ意見交換を行うという3つになっている。今までだいたいテーマはあったか。

日ノ原係長  
石本教育長

だいたい教育委員会から提起している。

テーマがあって、それが終わって時間があればその他自由に意見交換ということか。

日ノ原係長  
石本教育長

そうである。

委員方はこの考え方についてどうか。

テーマがないというのはやはりやりにくいのではないか。

宇津委員  
石本教育長

テーマがないと難しい。

この会議を主宰されるのは市長である。教育委員会ではないので、市長部局に代わって教育委員会が事務局を担当するが、本来は市長が開催されるものであるため、市長がこのテーマでと言ったら「はい」と言うしかない。一応、教育委員会としても何らかのテーマを置いておき、市長にお伝えするという方が良いのではと思うがいかがか。

宇津委員

取り上げるかどうかは十分検討していただきたいが、浜田市が抱えている大きな課題として人口減少は避けて通れない。市長もそこを気にしておられると思う。特に中山間地の人口減というのは、教育の分野においても相当大きな影響を与えているという様に考えなければいけないかと思う。その辺りで人口減少、特に中山間地における人口減少と教育の環境整備をしなければならぬ。地域での環境も含めて、これから先、どう取り組んでいかれるのか、あるいはどの様な気持ちでいなければならないのかという辺りを聞いてみたいと思う。先ほど申した様に、取り上げるか否かについてはご検討いただきたい。

石本教育長

確かに市長は浜田市の最大の課題は人口減少問題であると言っており、色々な施策を元気な浜田づくりにつなげて行っておられる。総合教育会議でも宇津委員が言われる様に、中山間地域における人口減少が教育にどの様に影響を与えているのか、その辺の対策をどうするべきなのか、確かにそういったところまで意見交換することも良いのではと思う。

他にこんなこともテーマとして挙げてはどうかということがあればお願いします。

藤本委員 私は思うことが1つある。先月の定例会の時、教育長から今後のエアコン設置について説明があったため消滅してしまったが、エアコンの設置の問題を強く要望しようと思っていた。2年も3年もかけてやるのではなくと思っていたのだが、その辺については解決の方向に向かいそうであるので消滅したと思う。

石本教育長 先月何を言ったか覚えていないのだが、先月の段階よりもまた1歩進んでいると思う。おそらく先月の時は中学校2年生、3年生を1年1年かけてやるのではなく、来年度1年で1度に設置するという話、それから次の年に小学校の設計をやって、平成32年度までには小学校も全部設置をするといった様な話をさせてもらった。まだ確定ではないが、先ほど国の補正予算の話があったが、今、それでもう1度に設置してしまおうという案が出ている。今日が締め切りであるが、国へ申請をする予定で、今、市長と協議を続けている。今もおそらく協議が続いていると思う。

藤本委員 それが上手くいけば、平成31年度末で小中学校の全てにエアコンが付くという様な、前倒しのまた前倒しが可能になるかもしれない。その辺のところをやっている。来月にははっきりしたことを言えるかもしれない。

金本委員 承知した。

藤本委員 私はこの前、原井幼稚園の運動会に行き、見させていただき、時間があつたので園長先生と話した中でこの要望書のことが出てきたりした。原井幼稚園が休園になるのかという様な風評が流れたりして色々と聞かれたりしたのだが、私もよく答えられなかった。市長のこれからの幼稚園教育に関する考えを聞いてみたい。

石本教育長 承知した。

花田委員 他にあるか。花田委員はいかがか。

日ノ原係長 市長の考えは、資料2の3(2)の例にあるようなものか。

これは、今までの傾向で言うところのことを市長から言われたことがあったため、例ということで載せている。今回どの様に言われるかは分からない。

花田委員 私だけ遠いのもかもしれないが、今、市長がどちらの方向に浜田の子どもをもっていきたいのかということ、私自身がまだつかみ切れていない。この学力のことであれば、高校という話が出ていた。中高一貫である。ここが、今どのくらいの色合いなのかということが気になるので聞いてみたい。

石本教育長

中高一貫のことについて市長は、諦めておられないという言い方はおかしいが、やはり実現したいと思っておられる。各3校の学校の特色や魅力をアップさせるためには、浜田高校の場合には進学の実績を上げることが1つの魅力化であろうと市長も言っておられ、そのためには中高一貫を実現したいと言っておられる。ただ、県がそういった話をして乗ってこないため、そういった中でこの話を浜田市から推し進めるのが良いのかどうか、少しその辺の様子を見ておられるというのが正直なところであるかと思う。ただ、市長の思いを私たちが確認しなければならないので、そういったことで一応聞いてみるということも大事なことであると思う。

今のところは、宇津委員が言われた人口減少に絡む中山間地域の教育関連の問題、それからエアコンは何とかなるだろうが、幼稚園教育のことを金本委員が言われた。それから花田委員からは、市長の教育に対する思いということでそれぞれテーマの提起があった。端的に言うと、学力向上を求めていくのか、そうではないところで幅広い教育に目を向けていくのかということであると思うのだが、その辺の意見があったということは、事務局を通じて市長に話をし、市長と相談をしてテーマを決めさせていただくということで良いか。

各委員

全会一致で承認。

石本教育長

では皆様方の意見を伝える中で、最終的には事務局と市長で調整し、テーマについては決めさせていただきたいと思う。

開催はやはり2月頃となるのか。

日ノ原係長

だいたいいつもその頃になる。2月の初め頃である。1月はあいさつ回りで出られることが多く、12月には議会があるためどうしても2月になってくるかと思う。

石本教育長

2月の中旬以降になると、3月議会のことがある。

日ノ原係長

そのこともあり、だいたい2月上旬である。

石本教育長

では日程的には2月上旬くらいかという気がしているので、また調整をさせていただこうと思う。

来月の時に市長の日程も押さえて、この定例会の中で日程だけは決められる様にしておく様に。

日ノ原係長

承知した。

石本教育長

それではご意見をいただいたので、先ほど申した様に参考にさせていただき、テーマを決めさせていただこうと思う。よろしく

お願いしたい。

(3) 平成 31 年度当初予算要求の骨子について (資料 3)

(非公開)

(4) 教育委員会自己点検・評価について (資料 4)

石本教育長

この資料については事前に送付し、教育委員方にはお目通しいただくことをお願いしている。事務局でもかなり時間をかけて作り上げているが、まだまだ十分でないところがあると思う。委員方からご意見を頂戴できればと思う。

昨年行った様に、ページを区切って 10 ページくらいずつ委員方にご意見をお出しただければと思っている。その様に進めるのでよろしく願います。

10 ページを開けていただきたい。ここから各項目、No. 1 からスタートする。No. 1 の項目から No. 10 のところまで 10 ずつ進める。No. 10 までのところでお気付きの点があればご指摘願う。

日ノ原係長  
石本教育長  
日ノ原係長

補足の説明をしてもよろしいか。

申し訳ない、願います。

まず、今日お配りしている報告書については、先週送付させていただいたものと全く同一のものとなるため、先週お配りしたものに書き込んでおられれば、それを使っただいて構わない。

今回、事務局で見て変更した点が 2 点あるので説明する。1 枚めくって目次をご覧いただきたい。目次で、例えば I 学校教育の充実の(1)生きる力の育成①ふるさと郷育の推進について、担当課が生涯学習課と学校教育課の 2 つの課が掲載されている。これは昨年度までは 1 つの課のみで全て行っていたが、やはりこの事業について、複数の課にまたがるといったものがあり、それについては複数の課を記載する様な形に変えている。なおかつ、最初に書いてある課が主の担当課となる。例えば、最初の①ふるさと教育の推進について言うと、生涯学習課と学校教育課の 2 つの課で行う事業であるが、主担当は生涯学習課という形になっており、こういったものが 7 事業ある。

それからもう 1 点変更したものがある。84 ページをご覧いただきたい。V 歴史・文化の伝承と創造(4)地域文化の交流拠点づ

くり、浜田城周辺整備ということで、具体的取組のところ①(仮称)浜田歴史資料館整備事業(平成29年度より事業名変更)と書いているが、ここだけ事業の名前を変更している。理由は、内容の5行目のなお書き以降のところであるが、名称については、浜田城周辺整備検討会において、神楽の上演ができる多目的ホールの整備を取り止めたことにより、「神楽」を削除しということで、去年までは、浜田歴史神楽資料館が整備事業の名前であったが、「神楽」を取り、浜田歴史資料館整備事業という形で事業名を変更している。

以上が平成29年度と比較して変更した点である。

石本教育長

ありがとうございました。先ほどあった様にこの2点について従来の考え方から変更があったということである。

それでは10ページに戻っていただき、No.1からNo.10のところで何かお気付きの点があればご指摘願う。

宇津委員

前段の5ページに少し気になる部分がある。

石本教育長

前段は全部見てもらった後に戻ろうと思う。

宇津委員

承知した。

金本委員

No.9の内容のところについて、表現が体言止めになっている。他の項目の内容は文章になっているのに、少し違和感がある。

石本教育長

確かに、表現の仕方が他と違っている。その辺について学校教育課から何かあるか。

市原課長

「何々をする。」といった表現に変えたいと思う。

石本教育長

「配置する。」であるとか「派遣する。」といった表現か。

市原課長

そうである。

石本教育長

他の項目は文章で書いてあるところがほとんどであるので、体言止めでは少し違和感がある。検討し、直す様に。

1つご指摘いただいた。

宇津委員

No.7の下から2番目の枠の平成29年度の実績について、その中の2公民館実施館が美川公民館のみである。もっと増やせる可能性があるのかという気がしていた。そのことについて、教育委員会の評価の欄に記載がないが、よくよく考えてみると、No.41の生涯学習課における評価のところでは、最後に「より多くの公民館が実施するよう制度の検討を要する」と書いてある。それでもう良いのかなど。これは生涯学習課と学校教育課で相まって、この公民館の実施館を増やしていくというスタンスも一緒ではないかという気がした。No.7で記載されなくとも、No.41で記載

日ノ原係長

されていけば良いのかなとも思った。

教育振興計画の上では昨年が初めての自己点検評価ということで、宇津委員からこういった No. 7 と No. 41 が同じ取組という様な再掲項目で、生きる力の育成とふるさと郷育の推進という違うものがある中で、事務局から出したものが全く一緒であったが、それはやはり違うのではということで、内容、実績、目標は一緒でも、評価は生きる力の育成とふるさと郷育それぞれの観点でということでご指摘をいただき、評価はそれぞれの観点でしている。

今年度については、この中の観念のところでは生涯学習課側のふるさと郷育推進の方で公民館を増やしたいという形で出ている状態である。これが、学校教育課側でいらぬのかどうかというのは確かに考えなければいけないところであるが、どうか。

市原課長

どちらかと言うと意見をいただいている No. 7 の方は名称は土曜学習支援事業ということで、最初のところは大きな項目が違っているというところで、行っている内容については同じ様なことを掲載し、最後のところで宇津委員が言われた様に公民館に特化した活動については生涯学習課で評価している。最初の No. 7 の方は見ていただいたとおり、評価のところである。土曜学習に私もずいぶん行ったが、両課で共同してやらなければいけない部分があるので、広めて行なう部分は学校、生徒へのアプローチ等といったところをしっかりと行わなくてはならないという思いがあり、そこを中心に書かせていただいている。もう 1 つの方が生涯学習課が中心のものなので、2 の公民館実施館については美川公民館のみであったが、もう少し違うところも広げていきたいということを書いた形にはなっているという様な事情である。

石本教育長

これについて何回も検討した覚えがある。No. 7 のところの公民館の実績で、2 公民館実施館の 2 行については削り、No. 41 には公民館でも行っているということを記載して、評価にもきちんと書いておけば、分かりやすいのではないか。削ってもよろしいか。

各委員

良い。

石本教育長

では削らせてもらう。

市原課長

No. 41 には No. 7 の再掲と書いてあるが、No. 7 には No. 41 に再掲してあるということが書いていない。私が言うのもおかしいが、そこは両方記載がある方が良いのではないか。

日ノ原係長 市原課長	承知した。 こういうケースがあれば両方記載しておくとは分かりやすいと思う。
石本教育長 日ノ原係長 市原課長 石本教育長	そうすると言葉の使い方に問題がある。 再掲ではない。 何か良い言葉はないか。 「No. 41 の再掲」ではおかしいので、「No. 41 へ再掲」なら分かるかもしれない。検討する様に。
日ノ原係長 石本教育長 各委員 石本教育長	承知した。 その他 No. 10 のところまでで何かあるか。 特になし。 とりあえず進むが、また何かあれば最後のところでお聞きする。それでは No. 11 から No. 20 までのところでいかがか。
宇津委員	No. 13 について実情を聞いてみたい。平成 29 年度の目標の 1 番下の 5 に事務職員未配置校のことが書いてあるが、現在、浜田市内の小中学校で事務職員の未配置校は何校で、どこの学校になるのか。
市原課長	波佐小学校のみである。第一中学校に加配で 2 名ついているため、色々と給料の関係の事務や特殊なもの、それから教頭先生が慣れておられないというところの支援を調整しながら行っていたり、あとは校区毎で定期的な会議をもっておられる。波佐小学校であれば金城エリアであるので、雲城小学校や金城中学校の先生も協力しながら行ったりしている。 あとは全体の中で、先ほどの新規採用職員の関係もあるが、校区の中でサポートしたり、小学校と中学校で校種毎でもあるので、その中で協力していただいたりとかということがよくある。例えば三隅小学校と三隅中学校は、校種は違うが近隣であるので、異動して来られたらサポートしていくという様なことである。
宇津委員	この支援というのはとても有難い。実際に私も小さな松平中学校という学校にいたが、その時に教頭をやっていた。その時は未配置校であったため、隣の小学校にベテランの千代延さんという事務職の方がおられ、ずいぶん助けてもらった。やはり近くでサポートしてくれる人がいるのといないのでは全く違う。是非ともこれは支援をしてあげていただきたいと思う。
市原課長	共同実施の取組は平成 20 年度から、それまで何年もかけてこ



ういった取組が必要であるということで、連携しながら事務さんとやり取りしている。今、松原小学校に拠点室というものが出来ているが、そこに月1回は集まり、1人職場なので色々な業務のことであるとか、悩み事も含めて集まって話す機会もあるので、浜田市の事務職員については、辛い心が辛くなる方はいないのかなと思っている。

花田委員

No. 17 と No. 18 についてである。No. 17 の評価のところの、幼児教育、保育施設の一元化について平成 30 年度も引き続き検討を行う必要があるという言い方とか、No. 18 の評価のところの、併せて検討していく必要があるという形の言い方というのは、いつまでにどう検討するのかとか、どれもそうなのかもしれないが、素朴に疑問を感じた。「何年度の何々に向けて」という様に具体的ではなく、ずっといつまでも、何年間も考え続けるのかというように、中途半端な感じがするが、この様にしか言い様がないのか。

藤本委員

私も行政経験があるが、逃げ道を作っておくのである。はっきり言い切れるところと、難しいところがある。私の思いと事務局の思いは違うかもしれないが。

日ノ原係長

花田委員が言われることはごもつともである。一応、No. 17 の件についてはこの後の協議会の中で触れさせていただくので、そこで年度も分かる形となる。No. 17 は、まだ公表できないところがあるので、年度が入れられないという事情がある。

古森課長

統合幼稚園については、まだ年度が明確にできない状況で、土地をどこに求めるかというのが1番の課題である。子育て支援センターがどこに移転するかによって、その後どこにするのかということを検討しなければならないということがあり、中々年度が明示できないというのが実情である。

石本教育長

No. 18 に関して言うと、原井幼稚園と石見幼稚園の統合というのが今までの流れとしてはあるのだが、原井幼稚園が休園になった時に新しい幼稚園としての統合なのか、単独建て替えになる可能性もあるし、逆に言うと統合ということが残るのであれば、他の3園との統合という様なことも浮上してくる。

この前、幼稚園のPTA と話をした時に、幼稚園のPTA の中では、将来、浜田市の幼稚園は1園になるという様なうわさがなんとなく流れているという様なことを聞いた。私たちがその様なことを明確に言ったことはないが、中には、幼稚園は1園で良いという

日ノ原係長

様な冷たい意見もないことはないので、そういったところから広がっている話であると思っている。今のところはNo. 18についてあいまいな形で出している。

このNo. 18にも直接絡んでくるが、普段、定例会議で行っていた幼稚園児の募集のこともあるが、そのことについても金本委員から話があったことに付随するところも、この後の協議会で話をさせていただきたいところの1つである。後ほどさせていただければと思う。

花田委員  
宇津委員

承知した。

No. 16の学校安全に関わる部分であるが、そこには記されていないが、浜田市内の全幼稚園、全小中学校で安全点検簿というのを各学校で揃えて、それを活用されているのか。施設設備や遊具も含めて。各学校作っておられるはずである。

牛尾室長  
宇津委員

作っている。

それを月1回でもチェックを入れて、最後は校長まで上がっているのか。

牛尾室長  
石本教育長  
宇津委員

そうされていると思う。

それをどこかに記載した方がよろしいか。

よく、施設設備の不備によって子どもがけがをしたとか、障がいを負ったとかということを取り沙汰されることがあるので、学校現場を預かる者としては日々点検、あるいはチェックを入れておかなければいけない部分であると思う。

交通安全であるとか、見回りといった外回りに注意が行きがちであるが、内々のちょっとした日頃の点検が大事であると思う。

石本教育長  
古森課長  
石本教育長  
日ノ原係長  
石本教育長

専門業者の点検も定期的に行っているはずである。

遊具は3年に1回の定期点検がある。

他にそういったことが出てくるところはないか。

出てこない。

そうであるなら宇津委員が言われる様に、学校構内の施設の点検をしているであるとか、先ほどあった遊具の専門業者による点検等の取組ということも含めて書いてみてはどうかと思う。

確かにこれは通学路のことが主になっている。安全安心な環境ということであれば、それだけではない。

古森課長

実績で言えば、学校の先生方が行う日常点検だけで、業者点検は平成29年度は行っていないため実績には中身がない。

石本教育長

3年に1回であるため平成29年度はないということである。「定

期的に行っている。」という記載ではどうか。その辺についてまた検討しておく様に。追加ということである。

他はよろしいか。

花田委員

No. 19 の平成 29 年度の実績の中の 5 心のかけ橋支援事業が、平成 29 年度末廃止ということで、この実数 4 人が、下の評価のところを見ると少し分かりにくかったのだが、平成 29 年度末をもって心のかけ橋支援事業を廃止したが、定期的に保護者同士や子ども同士の交流の場として山びこ学級保護者会を活用しているとあるが、私が気になるのはこの実数 4 人が廃止になった後、どこに受け皿があるのかということである。と言うのは、この内の 1 人は今、「ゆうは一と」に来ているのだが、心のかけ橋支援事業がなくなったから行き場所がなくて、勉強したくないから山びこ学級には行かないし、それで家に籠っているということがあったので、残りの 3 人というのは今どこにどの様に行っているのか、どういう状況であるのか把握しておられるのか聞きたい。

市原課長

個別には把握していない。この事業の廃止については、山びこ学級との関連の兼ね合いがあったり、あとは青少年サポートセンターもあったりということで、こういった話をした上で廃止させていただいた。元々県が手を引かれたところを残していたのだが、全体的な話の中でこうしようということになったが、先ほど言われた今の 3 名の状況については確認してまた回答させていただきます。

石本教育長

ここの表現を変更するという話ではなく、今の状況が知りたいということか。

花田委員

状況も知りたいが、ここに「廃止したが」とあったので、この 4 人が今きちんと居場所が出来ているということが書いてあるのかと思って読んだのだが、この文章では子どもたちが山びこ学級を利用しているのかどうかよく分からなかった。保護者会なので、誰がどうつながっているのか、活用しているというのがどういふことなのか分からない。

市原課長

山びこ学級というのは保護者さんと一緒になって、ふれあい遠足というものを毎年行っており、少年自然の家で炊飯活動を中心に親子で参加してもらい、保護者会で集まる中で保護者の参加も促したり、それから山びこ学級の先生も来られることになっている。心のかけ橋支援事業はなくなったが、そういったことを活用しながら関わりを持っているという様な意味合いもあるのかと

思っている。全く関係がないということではない。

今、ご指摘いただいた細かいことの在り様については個々に確認させていただき、このところも含めて回答させていただきたい。

石本教育長

そもそもの書きぶりとして、平成 29 年度末でなくなったとあるが、平成 29 年度の実績があるということは平成 29 年度も行っていたということである。評価のところで、廃止したが、定期的に保護者同士や子ども同士の交流の場として山びこ学級を活用しているというのは、廃止した後、平成 30 年度に入ってこういった活用をしているのか、それとも平成 29 年度も並行してこういった活用をしておられたのか。これだけ見たら平成 30 年度になって活用しているということなのかと思う。

ここは平成 29 年度の評価であるので、平成 30 年度のことを書く必要もない気がする。そこを確認しておく様に。

市原課長

承知した。

石本教育長

心のかげ橋に来ていたのは実質 4 人であったのか。

市原課長

少なかった。延べ人数は多いが同じ子どもが利用している。山びこ学級に来ている不登校の子にしても、実数は延べにすると多いが、実際に来られる子どもは平均すると 10 人で、同じような子どもが多い。

石本教育長

上ヶ迫先生が、心のかげ橋で体育をしに行くと言って子どもたちと行かれていた。

市原課長

体育の授業も月曜日にある。桃木さんである。

石本教育長

4 で割ったら 50 回になる。週に 1 回もなかったのでは。

市原課長

来るのもいつもではないのではと思う。

宇津委員

県はこの心のかげ橋の事業を取り止めただけか、それともそれに代わるものを考えてきたのか。

市原課長

代わりはなかったと思う。県はだいたい 3 年くらいすると梯子を外される。後は、各市町でそれを続けるかどうか優先順位を付けてということになる。

宇津委員

この事業は 3 年どころではないのでは。

市原課長

一般的に 3 年くらいということである。

石本教育長

もう少し実態を調べてみる様に。

市原課長

承知した。

石本教育長

それでは No. 20 までのところはよろしいか。

各委員

特になし。

石本教育長	<p>ではNo. 21 からNo. 30 までのところでご意見があればお願いします。</p> <p>中身ではないがNo. 22 の平成 29 年度の目標のところの下から4 行目括弧のここにサポートティーチャーが、ティーチャーになっている。</p>
宇津委員	<p>同じページの平成 29 年度の実績の1 相談支援チームによる保育所(園)、幼稚園巡回訪問実績の数字について、内訳が書いてあるが合計 356 人というのは何の数字であるか。訪問実績とあり、0 歳児が 4 人、1 歳児が 27 人という数字であるが、これは何の数字で合計 356 人なのか。</p>
市原課長	<p>相談支援チームとして気になる子であるとか、そういった対象児童の数である。</p>
宇津委員	<p>関わった幼児の数ということか。</p>
市原課長	<p>そうである。</p>
石本教育長	<p>幼稚園や保育園からこの子どもを見に来てくださいという要望があり、それに対して出掛けて行ったことである。</p>
市原課長	<p>プラス行った時に気になる子どもがいた場合も含まれているかもしれないが、そういったものの数である。</p>
花田委員	<p>No. 21 の親学プログラムの実施であるが、平成 29 年度の実績の 2 実施回数が本当に少ないと思う。下の評価で、小中学校の回数が少ないため、PTA との連携を強化する必要があるとあるが、具体的にどの様につながり、どの様に広めていこうと考えを持っておられるのか教えていただきたい。</p>
三浦社会教育主事	<p>小中学校の回数が年々減っているのは事実である。この 2 年間こちらからのアプローチもなかったもので、学級懇談会等で少人数のグループの中でもやっていっていただきたいし、学校の中でもPTA 研修会等でやっていっていただきたいということをお伝えしたいのだが、学校としても親学プログラム以外の研修会等も取り入れておられるので、小グループにアプローチをかけていきたいと思っている。</p>
石本教育長	<p>当初、県が作ったこのプログラムは、PTA 総会に行き「こういったものが出来たので、是非活用してください。」という PR をしていた。年数が経ち、皆が知っておられるという思いもあるのだろうが段々なくなってきたので、定期的に行き、その辺の願いをするのも 1 つの手かもしれない。</p>
三浦社会教育主事	<p>平成 29 年度末に、保育所に平成 30 年度の希望をとったが、保</p>

花田委員

育園と幼稚園で 12 件の希望があったので、そういう形でこつこつとアプローチをかけていきたいと思っている。

家庭教育支援というのが柱として立っているのに、実際に具体的に行えているのかというところがとても薄いと思っており、せっかく考えられているので、やはり良いところを啓発していったりとか、足しげく通っていただくといったことをしていただかなくてはならないと思っている。

実際に知らないというのは、学校の先生も紙だけを見た時にこれがどの様なものなのか、紙だけで見ると大したことない感じがする。やるまでは自分自身もこの様なセリフが決まったものやってもどうなのかという感じがしたが、実際にやってみると、そこにいる集団がくっついていくというか、すごく深まる。やり方にもよるが、これをきちんとやっていくということは、これからの消費的な市民でない、主体的に生きる市民すら作っていくと思っているところであるので、そのくらい意味がある、10 年後、20 年後に大きな効果があるものだと自信を持ってもっと広めていってもらいたい。

校長会で校長先生に言うだけでも、毛嫌いされる校長先生の学校には一切入れない。こんなに良いものがあるので、PTA の部長になって PTA として「研修でやりましょう。」と言っても通らない学校がある。だから、実際にやる場所に来て、感じてもらうということが一番良いかと思う。そこは難しいが、あの手この手で考えていき、伝えようとしなければ廃れてしまうので本当にもったいないと思う。

石本教育長

ファシリテーターの養成講座みたいなものがあつたが、今は数が増えていない様な気がする。

花田委員

その辺にも問題がある。

金本委員

マンネリ化しているような、中だるみのような時期になっている。

花田委員

やはり、これをもって浜田市をどう変えていくかというくらいの思いをやる側が持っていないと、伝わっていかない。社会教育は基本的にそうである。即数字に出るわけではない。だが、全員の親がどこかでこれをやったら全く変わると思うので、一緒にもっと積極的に攻めていきましょう。

三浦社会教育主事

浜田市でも 3 回ほど主催して乳幼児期版を子育て支援センターと連携してやろうという計画を立てている。小中学校と高等学

校にも是非攻めていきたい。

宇津委員 保育園と幼稚園の先生と一緒に計画づくりをした方が良いと思う。計画の段階から取り込んでしまう。それから一度に全保育所をやろうという気構えではなく、年次ごとに今回はここここでという様にある程度年次計画を立てて攻めていく、火を点けていかなければならない。燃えてもらうのは保護者方であり、火を点けるのはこちらである。火を点けていくことが大事である。その前段を、計画づくりの中で一緒にやっていくことは良いことかもしれない。

石本教育長 色々と意見をいただいたが、また担当課でしっかり検討する様に。

市原課長 今のこの案件が 39 ページの No. 29 に再掲となっている。今度は家庭教育支援の充実のところで親学プログラム関連が出てくる。

日ノ原係長 No. 29 へ再掲と入れさせていただく。

石本教育長 他にご意見があるか。

各委員 特になし。

石本教育長 それでは先に進む。No. 31 から No. 40 のところでご意見があればお願いします。

日ノ原係長 再掲の関係で、No. 31 は No. 42 へ再掲している。No. 31 に「No. 42 へ再掲」と入れていただきたい。

宇津委員 No. 34 の健全育成に関わるところであるが、内容のところ、自治区単位という言葉の中に括弧書きで弥栄自治区を除くとなっているが、実際に弥栄自治区には健全育成会議というものは存在しないのか。

長見所長 存在しない。

宇津委員 そこへの支援はノータッチなのか。それとも他の形で支援をしているのか。

長見所長 支援はしていない。私が聞いている部分であるが、弥栄自治区が健全育成のところを合併後どうするかというところで、こういう会議を設けるといいう時に、おそらく弥栄自治区には小中学校の連絡会議が残っており、それはそのまま、健全育成の会議は存在しないということを決めておられ、そちらの方の会議は夏休み前とかに保育所等を含めた学校同士での会議をしておられると聞いているが、健全育成という形ではしておられないので、実際にはない。

宇津委員	浜田市として健全育成の総合された組織の中には、弥栄自治区の方は入ってきていない状況か。
長見所長	<p>総合された組織がまだできていない状況である。それが課題ではあるが、元々が、旧浜田自治区は事務局を民間が持っており、金城自治区と三隅自治区は行政が事務局を持っている。</p> <p>旭自治区に残っているのが、先ほど言った弥栄自治区にあった学校を中心とした形のものが残っており、それについてはまだ旭自治区で事務局を持っておられる。</p> <p>金城自治区と三隅自治区に関しては事務局が青少年サポートセンターに動いており、県の県民会議というのが大元にあるが、その組織に入っているのは民間が事務局を持っている旧浜田自治区と金城自治区と三隅自治区で、内容や性格が違ったりしたので、本当は全市で1つのものがあり、その中に支部があるような形が望ましいと分かっているものの、今までの歴史があったりして、中々統一することが難しく、少しずつこのところの内容もお話しつつという様なところで、将来的には1つにしたいが今は統一できていないのが現状である。</p>
金本委員	何故、金城自治区の助成金が多いのか。
長見所長	金城の自治区時代の時からの歴史があり事業の内容が全く違う。三隅自治区や旧浜田自治区とかと話をすると規模が違う。
石本教育長	<p>活動の中身が全く違い、細かいところまでやっておられる。統一する時にどこに合わせるかであるが、金城自治区に合わせたらものすごく経費がかかって大変であるし、逆に他のところに合わせると、金城自治区ができていたことができなくなってしまうという様なことで、中々調整ができていないのが現実であると思う。合併して13年も経つのにこのままでいいのかといつも思うが、中々進んでいない。</p> <p>その他はよろしいか。</p>
各委員	特になし。
石本教育長	それではNo. 41 から No. 50 のところでご意見があればお願いします。
宇津委員	No. 43 の平成 29 年度の実績の中で1 ネットワーク会議の開催となっている。この中にあるエリアコーディネーターというのは、全中学校区におられるということか。
三浦社会教育主事	そうである。
宇津委員	全部揃っているということであるか。



三浦社会教育主事	揃っている。9名である。
宇津委員	承知した。
花田委員	No. 45 についてである。人づくり・郷づくり交流会とあるが、ここ数年はまちづくり推進課と一緒にされてきた様になったと思うが、担当課というのは、教育委員会内の2つにまたがっている課は書かれている。教育委員会以外の課と一緒にやっているということは、どこにも書くところはないのか。
石本教育長	担当課ということは教育委員会の中の担当課であるので、生涯学習課で良いと思うが、下の実績のところに入づくり・郷づくり交流会と書いてあるところは、まちづくり推進課、地域政策部と共同開催といった様なことは書ける。そういったことを入れてみてはどうか。
花田委員	それは大きな変化であると思う。数年前から入れておかなければいけなかったのかもしれないが今気づいた。
石本教育長	記載の追加をする様に。
花田委員	No. 46 についてであるが、全公民館での取組を目指していると書いてあり、未実施の館が7館あると評価にある。ずっとその様な感じであったのか。
石本教育長	去年はどうであったのか。
村瀧室長	去年よりは良くなっている。
日ノ原係長	平成28年度の実績は17館である。
石本教育長	実施館がということか。
村瀧室長	そうである。
石本教育長	ということは9館が未実施であるということか。
日ノ原係長	そうである。2館増えている。
花田委員	少しでも増えているなら、働きかけたのであろう。
石本教育長	私の感覚としては、公民館は全て行っている様な気がしていたが違うのか。
村瀧室長	行っていただく様にお願いしているし、公民館も重要性は理解されていると思うが、どうしてもたくさんの行事をやらうとした時に、やはり公民館としては人に集まっていたきたい行事を先に選択してしまう。
藤本委員	私が思うには、公民館は全部で26館あるが、それぞれの公民館単独でというのは無理があると思う。人集めの問題もある。共同でされているものもあるのか。例えば、幾つかの館が共同で行っているというものもあるし、中学生を対象としたものと一緒に

村瀧室長  なつてされているものもある。私も一度行ったことがある。  
           各中学校区で、人権集会というものを開催させてもらっている  
           ので、その中学校だけではなく、その地域の方や公民館の方々と  
           一緒に取り組んでいただいて開催してもいるが、26の公民館毎  
           に少人数でも行っていただける様に、働きかけをしていきたい。

藤本委員  だからこの7館が何にもしていないということではない。単独  
           ではしていないという意味であると思う。

石本教育長  ではここに書いてはどうか。公民館と各中学校区で行っている  
           活動があれば、そこが連携して地域の方にも参加してもらう様な  
           取組を進めているであるとか、そういったことをもっと進めてい  
           くであるとか、実際に行っているのは間違いないと思うので、公  
           民館と学校が連携して行っているという様なことを書いてみて  
           はどうか。おそらく人権集会が行われる時には、必ず公民館にも  
           話がいており、来てくださいという様な案内があると思う。間  
           違ったことを書いてはいけないので、調べて書いてみてはどうか。

花田委員  メニューを検討して、ビデオでも良いとか、DVDを少し見るだ  
           けでも良いということを書いていくという感じであるか。

村瀧室長  そうである。そんなに大げさに考えなくても、まずは取り組ん  
           でいただきたいということである。

花田委員  その具体的なことを期待して進めていかれるのであればすご  
           く増えると思うので、良いと思った。中学校区で行っているもの  
           について「共催何々公民館」とし、人権・同和問題学習の事業と  
           すればここに載せられると思う。啓発もできる。

村瀧室長  確認する。

石本教育長  その辺を検討する様に。

          他にご意見があるか。

各委員  特になし。

石本教育長  それではNo. 51からNo. 60のところでご意見があればお願いす  
           る。

金本委員  No. 52とNo. 53の目標のところについてである。とても数にこ  
           だわっている。どこをねらっているのかという内容が知りたい。  
           こういうことをねらうためにこの行事をする、とかいうこと  
           である。

石本教育長  この子ども読書週間とか秋の読書週間のねらいということか。

金本委員  何のためにこれをするのかということである。

<p>石本教育長 日ノ原係長 石本教育長</p>	<p>図書館の関係は生涯学習課であるが。 今日は村木課長が欠席である。 確かに、内容のところに目的が書いてあるが、目標のところには数字しか書いていない。そこについては、こういった意見があったということで検討する様に。</p>
<p>宇津委員 石本教育長 宇津委員</p>	<p>併せて実績のところにも回数だけが書いてある。 上段が回数のみ書いてあるので下段も回数のみになっている。 実際に、実績のところ「延べ何百人利用した」ということが出てくるとより具体的でわかりやすい。1回行ったというだけではなく、延べ人数を書いておかれた方が良いのではないか。</p>
<p>石本教育長</p>	<p>承知した。映画会を1回行い、20人くらいが集まったというのはある。</p>
<p>宇津委員</p>	<p>実績に基づいて次年度の計画を立てるわけであるので、20人なら20人で良いのでは。</p>
<p>石本教育長</p>	<p>では人数のところも確認しておく様に。 他はよろしいか。</p>
<p>各委員 石本教育長</p>	<p>特になし。 それでは、15項目になるがNo. 61からNo. 75のところでご意見があればお願いします。</p>
<p>日ノ原係長 石本教育長 宇津委員</p>	<p>No. 59で気が付いたところがある。平成29年度の実績のところに千葉すずさん等、講師の名前が書いてある。名前の前にアイウエオは必要ない。これは取った方が良いのではないか。 承知した。 申し訳ない、戻ってしまった。No. 61からNo. 75でお願いします。 No. 61の平成29年度の実績のところに、2主な改修とあり、(1)サンマリン浜田から(5)三隅B&amp;G海洋センターまでである。この中で、日本スポーツ振興センターの助成金を利用して行った事業はどれか、あるいはなかったのか。 採択が厳しくなったと書いてある。日本スポーツ振興センターが対象事業に対して難しいことを言うのであろう。</p>
<p>日ノ原係長 石本教育長</p>	<p>おそらく平成29年度の工事ではなかったと思う。 結果的に少なくなっている理由は、東日本大震災が起きるまでは助成金がたくさんあった。それ以降のところは、やはりそちらに集中的に投資をしておられるので、西日本辺りに割り振りされる助成金が減ったということがある。</p>
<p>宇津委員</p>	<p>承知した。</p>

日ノ原係長	平成 27 年か平成 28 年はあったが、平成 29 年はなかったはずである。
宇津委員	助成してもらえると助かる。
石本教育長	スポーツ振興くじ (TOTO) の収益金であるから TOTO をやらないといけない。
	No. 75 までのところについてはよろしいか。
各委員	特になし。
石本教育長	86 ページから 96 ページに目標設定に対するまとめがある。これをご覧になって何かご意見があればお願いしたい。
	教育振興計画の中に掲げてある目標の達成率を示してある。この項目の中で目標を達成したものが何個かある。
	88 ページの学校支援地域本部事業は、ボランティアの数や数値を見ると、今はなんとなく尻つぼみになっている様な気がする。
三浦社会教育主事	県にもその件で確認したが、やはりその数が公民館を通したボランティアの数で挙がってきており、学校が直接つながっていたりして、数が挙がってこない。そういうところもあり、目標値の設定も検討しなければならないと話をしている。
石本教育長	学校支援地域本部事業というのは、どちらかという、地域の方々が学校に赴いて行うということで、地域から学校に向かうという一方向しかなかったが、今はそうではなくお互いに、学校から地域にということもあり、双方向で WIN WIN の関係になっていかなければいけないという方向に流れつつあるので、いわゆる片側の一方通行に近い学校支援が段々細くなっている気がする。それも確かであるか。
三浦社会教育主事	そうかもしれない。
牛尾室長	86、87 ページも報告書として出るのか。87 ページの (2) 一人ひとりを大切にする教育の推進にもう 1 個項目があり、人の気持ちがわかる人間でありたいと思っているという項目が抜けている。
日ノ原係長	敢えて取っている。最初の段階で取っている。
石本教育長	取った経緯というのは何か。
日ノ原係長	昨年度も取っている。
牛尾室長	それは昨年度に評価できるものがないということか。
日ノ原係長	おそらく元から評価すべき数字がなかった。平成 28 年度からそうであった気がする。
牛尾室長	平成 29 年度に全国学力・学習状況調査の項目がなくて、それ

	から平成 28 年度もなかった。
日ノ原係長 牛尾室長	<p>そうである。平成 28 年度も全く載らないものであった。</p> <p>今年度、それでは困るから、評価できないからということで新たにアンケートを行うことにした。</p>
石本教育長 牛尾室長	<p>平成 30 年度からは載せることができる。</p> <p>承知した。</p>
日ノ原係長	<p>全く数字が載らず、昨年もそういった経緯があった。目標値だけがあり、実績の数字が平成 28 年度も、平成 29 年度もなかったもので。</p>
石本教育長 日ノ原係長 石本教育長	<p>平成 30 年度にはできるのだがどうするか。</p> <p>平成 30 年度からは復活しても良いと思う。</p> <p>それでは平成 30 年度からは復活するというので。</p> <p>それでは最初に戻り、それぞれの項目の成果や評価があった中で、その総括を 4 ページから 7 ページにまとめている。先ほどその部分について宇津委員からご指摘があった。</p>
宇津委員	<p>5 ページのⅢ社会教育の推進の真ん中どころで、平成 29 年度においてはというところの 2 から 3 行目である。活用状況を学校に調査しとあるが、その「学校に」というのはいらないのではないか。上の行に小学校 4 から 6 年生に配付したという旨が書いてあるので、「学校に」という文言がいらないのではと思った。</p>
三浦社会教育主事 石本教育長	<p>ご指摘どおりである。</p> <p>それではご指摘のあった「学校に」というところを削除する様に。</p>
日ノ原係長 石本教育長	<p>活用状況を調査しという形に直す。</p> <p>書いてあれば、学校に調査したということが分かるということである。</p> <p>その他の内容についてはいかがか。</p>
各委員 石本教育長	<p>特になし。</p> <p>今後のスケジュールであるが、今日ご指摘があったところは直し、再度委員方に確認していただくということになるが、最終の締め切りはいつにするか。</p>
日ノ原係長	<p>今後の予定としては、12 月議会の総務文教委員会が 12 月 11 日に開催されるが、それに提出する予定で動いている。総務課からまだ提出締め切りが出ていないが、昨年から類推すると、だいたい 11 月 29 日辺りが締め切りという形となる。</p>
石本教育長	<p>では来月の定例会の時に再度最終のものを確認してもらうこ</p>

日ノ原係長  
石本教育長

とができるか。

来月は21日であるので、そこで良いということであれば。

では、今日全てを修正しなければならないということではない様であるので、更に委員方が気付かれた点があればご報告いただいて最終調整をするということで、11月10日頃締め切りとするか。それなら間に合うのではないか。

日ノ原係長  
宇津委員

それを11月21日の定例会に出すということなら間に合う。

1つほど良いか。前段の6、7ページのV歴史・文化の伝承と創造というところで、やはり埋蔵文化財等については、出てきた資料を児童生徒の学習の資料として、あるいは市民の学習の資料として使える様にしていくという視点も大事ではないかと思う。継承したり保存したりするばかりでなく、学習の教材、資料として活用できないかという、そういう文言がどこかに入るとさすが教育委員会だということになるのではないか。また検討してみてください。

石本教育長

では併せて、この前那賀会館跡地の発掘現場で市民に説明会などを行ったりして皆さんに知ってもらおうという活動をしているので、その辺も含めて書いていただきたい。

ありがとうございました。丁寧に見ていただき、色々と修正していただいた。先ほど言ったように、まだ時間があるのでもう一度、11月10日までのところで委員方のお気付きの点があればご連絡いただきたい。

日ノ原係長

申し訳ない、もう少し早い方が良い。逆算すると11月21日が定例会であり1週間前の14日に送らせていただくので、11月2日くらいまでのところでご意見をいただき、14日頃に直したものを送らせていただきたい。

石本教育長

では担当がそう申すので、11月2日(金)までのところまででご意見があれば、日ノ原係長までご連絡いただければと思う。よろしく願います。ありがとうございました。

### 3 部長・課長等報告事項

古森課長

平成30年12月議会定例会日程(案)(資料5)

教育委員会の関係は、11月7日の総務文教調査会に始まり、11月19日の全員協議会、それから11月26日には一般質問の締め切りがあり、それ以降答弁書の検討を行う。議会は12月3日に開会され、一般質問が4日間、それから12月10日に議案

質疑、12月11日に総務文教委員会、12月14日に予算決算委員会で、12月19日までの会期という予定になっている。

#### 行事等予定表（資料6）

これから1か月間の行事予定である。10月27日から小中学校と幼稚園の学習発表会（文化祭）が開催されるが、これについては、この後学校教育課から少し説明があると思う。

11月7日には連合音楽祭のご案内を送らせていただいているところであるので、丸は付いていないがよろしく願います。

先月のところでもご案内している11月30日の中国地区国語教育研究大会がある。来月の定例会以降のことではあるが、よろしく願います。

それから口頭で申し訳ないが、1件報告がある。奨学金に対して5,000万円の匿名寄附を先週いただいた。匿名ということであるので名前は出せないのだが、今後、奨学金の元本として積み立てた上で運用させていただこうと思っている。

幼稚園訪問が抜けているように思う。

大変申し訳ない。10月30日と11月1日である。よろしく願います。

10月30日と11月1日で、それぞれ8時20分出発であったか。

9時20分である。

失礼した。9時20分出発である。よろしく願います。

他に漏れているものはないか。

10月21日の定例会は13時からか。

13時半である。申し訳ない。

宇津委員  
日ノ原係長

石本教育長

金本委員  
石本教育長

花田委員  
日ノ原係長

市原課長

#### 平成30年度学習発表会等日程（資料7）

10月27日の雲城小学校から始まり、小学校については11月17日までとなっており、幼稚園については12月8日に行われる予定であるので、案内等はなかったかもしれないが、見ていただければ、ご来場いただければと思っている。

#### 森下永敏氏からの寄付について（報告）（資料8）

これについては、先ほど 5,000 万円の寄附の話があったが、実は同じ日にこの話があった。この 10 月 11 日に来られる前に名古屋から電話があり、最初は、資料に書いてある様に、森下永敏さんという方が第二中学校の卒業生で、自分が卓球部であったので、是非卓球台を寄附したいという話であった。しかし、来られる当日に電話があり、実は 300 万円持って来ているので、それで受けていただけないかということであったので、ありがたい話であったが、驚いて少しバタバタした。

当日来られて教育長にも面会していただき、浜田市内の恩師のところへご案内したところである。

そこに書いてある様に、まずは第二中学校の卓球台 2 台ということであったので一番良いものを 2 台検討しており、それ以外については学校備品で使っていただいて良いということであったので、それについては 12 月補正予算以降で検討し、今年度中に対応できればと思っている。

日ノ原係長

写真右側の感謝と書いてあるものが、300 万円が入っていた封筒である。

金本委員

お坊さんであるか。

石本教育長

そうである。息子さんが住職さんで、お母さんの永敏さんは大住職という役職であった。名古屋にあるお寺もかなり大きなものである。

市原課長

この森下瑞堂さんと永敏さんについてインターネットで調べてもらうと、ホームページなど色々出てくる。息子さんはラジオのパーソナリティとか、驚くようなことを色々されている。また見ていただきたいと思っている。

牛尾室長

#### 第 6 回（10 月）校長会資料レジュメ（資料 9）

10 月の校長会で校長に伝えた内容である。1 浜田市のアンケートについて、先ほどあった浜田市総合振興計画の目標について、そして小中連携教育の目標項目でもある 6 個の項目について質問紙を配り、11 月に各学校で実施してもらう様にしている。今後、平成 33 年、2021 年度までこれを継続して、その目標値に向けての取組を協議していくということにしている。

2 平成 30 年度島根県学校図書館活用教育講座ということで、これは中学校教員の講座であったのだが、8 月に研修に出た教員からの復命を受け、これは小学校教員にも是非見てほしいと



ということで、資料Bの裏表にまとめて配付した。全てはご紹介できないが、公立学校の入学者に行われる学力検査の結果が、全国学調の結果と全く同様であるという、何が問われているかを正確に読み取って複数の資料の情報から結び付けて、筋道を立てて理由を説明するという力が大きな課題である。高等学校の学力検査と全国学調とが全く同じであるということで、レジュメにも書いているが、校長には記述問題に答える指導も必要であるのではということ投げかけたところである。3つの条件があったらその3つの条件をきちんと書かなければ点数にならない、2つの条件であれば2つをきちんと入れる、問題を解かせるだけでなくそういった指導も必要でないかということ伝えた。

3 島根県公立高校入試問題数学の図形分野分析についてということで、今、算数と数学の研究指定校に雲雀丘小学校と第二中学校が指定されているが、第二中学校の数学分野の先生が3人おられるが、過去の島根県の高校入試、平成26年度から30年度の問題を分析して図形問題がどのくらい出ているのかということ、一覧表にまとめられた。これは前田先生とも相談の上であるが、その結果驚くことに、全体の37%または40%を超える年もある。図形だけが直接出るというのは少なく、色々な問題と混合してくるのだが、図形概念を使った問題がかなり高割合であるということで、受験が近づいてきたら中学3年生が数学はどこを勉強したら良いかと聞きに来ることがある様で、その時に、では図形のこのページのここを勉強してはどうかと教えられる。この表の優れているところは、その図形が何年生でどの章のどのページのどこに関係の問題があるということが一覧になっているところである。これを第二中学校だけにとどめておくのはもったいない。是非、浜田市の中学校で活用してくださいということで配った。

資料の裏面についてである。「指導と評価」という毎月発行の冊子があるのだが、その中に、「授業の質の確保」というものがあつた。教員が週案を作っているが、その中に1時間ごとの内容を書いているが、そこにねらいとめあてが大事だとあるので、そのねらいとめあてを児童の言葉で書いていこうという取組をしているというものであつた。

多くの取組が「授業の質の確保」のために、市や町に自治体

で統一した取組が必要であると報じていた。そうすることで、資料にあるのは板橋区であるが、授業スタンダードを進めることで、若手もベテラン教員も同じ視点に立った授業改善を進めることが可能であるということで、そうだろうなと感じた。

(1)一単位時間の学習の流れについては、この下の枠で囲んである様な流れは、現在、浜田市ではほぼどの学校も行っているので、それは作る必要はないと思う。

(2)については是非、校長先生方にまた考えてほしいという内容になっていた。教員は、学習週案簿に、1時間ごとの内容を次の週にどの様に授業するかというものを作っている。その中に、ではこの時間のねらいはこれであると、授業で使う形で表記することで、もっと意識を持って取り組むことができるのではないかということである。去年は私も現場にいたが、中々そこまでそれを行っていることを、確認まではしていなかった。以前は教育記録というものを校長に提出してチェックを受けて、赤ペンを入れてもらったりということがあったが、今はそういうことをしていないと思う。私もそこまでしていなかった。やっているだろうと思っていた。難しいかもしれないが、そういうことが大切であるということをも是非伝えてほしいと思い、投げかけたところである。

三浦社会教育主事

はまだっ子共育活動について（報告）（資料10）

前回の定例会の時に、9校中4校の活動を報告させていただいているため、今回は5校の活動の報告をする。

夏休みにおいてと書いてあるが、夏休みの活動ではない。

裏面から紹介する。裏面は第四中学校区の活動である。美川公民館だよりより、紹介させていただく。美川公民館のある第四中学校区では幼稚園、小学校、中学校で連携した取組をよく学校支援でしておられ、第四中学校と美川小学校で田植えをされたりしている。12月になると、それが幼稚園、小学校、中学校で地域の方も一緒にお正月飾りを作ったりする活動につながられている。

2枚目の共育ひろばと書いてあるのが、国府公民館だよりの一部である。浜田東中学校区の国府公民館では、浜田東中学校、国府小学校、浜田養護学校、浜田ろう学校の支援をされている。ここで出ているのが、国府小学校における学校支援の様子、そ

して浜田養護学校における学校支援の様子である。国府公民館の学校支援の特徴的なところで、県立の浜田養護学校、浜田ろう学校も支援するという関係で、浜田養護学校が国府公民館に出向かれ、地域の方に制作したものを販売したり、使用されたりとか浜田養護学校の生徒が公民館の清掃を地域貢献としてされたりであるといった活動も特徴的であると思っている。

その裏面に、ふれあいというお便りがあり、これは金城中学校区の久佐公民館の活動である。共育プロジェクトでは、学校支援だけでなく放課後や休日の支援も行っている。案山子づくり交流会というものを、長年久佐公民館で取り組んでいるのだが、これを放課後や休日の支援として、6月24日(日)に行われている。

その隣には、今福児童クラブを招いて夏休みに行っている活動が載っている。児童クラブの長い夏休みに、子どもたちに色々な経験をさせようということで、公民館でもこういった支援をしている。

最後の資料の表面になるが、木田サロンと書いてあるものが旭中学校区の木田公民館の取組である。右側に、地域学校協働活動という言葉がある。先ほど教育長からあったが、今、学校支援、支援から連携、協働へということで共育プロジェクトも連携、協働というところを強化していこうとしている。木田公民館はさっそく地域学校協働活動という言葉で地域の方にお知らせしておられるところである。これも、木田の梨やそれから地域の人や物、ことを使った学習の様子が載っている。

最後のページが弥栄中学校区の公民館である。安城公民館と杵束公民館はまちづくり委員会と一緒にこういった公民館だよりを出しておられ、その一部であるが、左上に川遊び交流会ということで、小学校の振替休業日に合わせてこういった活動を企画して取り組んでおられる。

「第71回優良公民館表彰」文部科学大臣表彰及び平成30年度全国公益社団法人全国公民館連合会 永年勤続職員表彰について(資料11)

この度、優良公民館表彰、文部科学大臣表彰を浜田市立国府公民館が受賞された。それから永年勤続職員表彰では美川公民館の平野館長、そして小国公民館の横山主事が受賞された。

村木課長  
(代理：河野係長)

表彰日は平成30年11月2日となっており、国府公民館の佐々木館長が表彰式に出向かれる。

スポーツ施設の使用できない期間について（資料12）

浜田市陸上競技場が平成30年11月1日から平成31年3月31日までの予定で、第4種公認検定に伴う改修工事のため使用できない。工事の概要は、地盤沈下により、走路のアンツーカが沈下している箇所を嵩上することがメインであるが、その他にウレタン補装工や競技施設工等を実施するということである。

続いて、浜田市野球場は、平成30年11月12日から平成31年2月28日までが使用できない予定となっている。工事名は、外野ウォーニングゾーンの改修工事ということで、外野のアンツーカになっているところが、大雨の度に整備を行っているのだが、アンツーカも流出し、急こう配になっているため、真砂土に換えて整備をするというものである。

それに伴い、内野のフェンス、網であるがこれも取り換えの工事を行う。劣化が激しいため取り換えるという工事である。なお、野球場を閉鎖するのに直接関係はないが、内野3塁側の観客席陥没の修繕工事もこの時期に実施する。

それからラ・ペアーレ浜田であるが、これは温水プールのみであるが、平成30年12月1日から平成31年2月28日までの予定で使用できないということである。ボイラー、ろ過装置、循環ポンプ、配管等が全て老朽化で度々直して使っていたようであるが、これを一度に交換する工事である。

なお、サン・ビレッジ浜田スケート場であるが、今、工事中であり、平成30年12月19日からオープンする予定である。

移動図書館ラブック号 弥栄産業まつり～小学校への出張展示について（資料13）

弥栄産業まつりに出展するということである。今まで、ラブック号は中山間地の小学校や公民館しか行っていなかったが、こういったお祭りに参加してみようということである。その他、金城、旭、三隅のまつりにも行く予定であるし、小学校に、貸し出しはできないが、こういった本を積んだラブック号という車があるということで、希望校との協議により調整ではある

が、模擬体験の実施も図書館で考えている。

裏面の資料についてである。図書館の川側にウッドデッキがある。これを全く活用していなかった様で、これを舞台として何か催しものをしてはどうかということで、今回初めてウッドデッキを使い、11月4日に朗読を楽しむ会、それからおはなしタンポポ、中央図書館でお話会をするということであるので、ご興味があれば11月4日に図書館へ行っていただければということである。

外浦課長

平成30年度 浜田開府400年記念プレ講演・座談会《第4弾》について（資料14）

今回はテーマが浜田のまちづくり・人づくりということで、11月17日（土）13時半から県立大学のコンベンションホールで行うことにしている。第1部で、浜田市出身の兵庫県立歴史博物館館長補佐の堀田浩之さんに「城下町浜田の要―浜田城を探る―」ということで基調講演していただく。

その後、「浜田のまちと教育」というテーマで久保田市長から報告をしていただき、第2部として座談会を予定している。堀田さん、岩町先生、隅田先生の3名の方をパネラーとして久保田市長と座談会を行う予定にしている。

しまね映画塾 in 浜田 2018 作品発表上映会（資料15）

今年度、しまね映画塾で浜田市を舞台として撮影し、作品が出来上がった。11月25日石中央文化ホールの大ホールで発表会を行う。裏面に上映作品リストがある。それぞれ浜田市内の観光地や景観が色々なところが出ているが、是非ご覧になっていただければと思う。

石本教育長

以上資料のあるところについて報告いただいた。資料がない課で報告事項等あるか。

各課長

特になし。

石本教育長

それでは委員方から質問があればお願いしたい。

質疑応答

石本教育長

1つ私からよろしいか。移動図書館について分かるものはいないか。小学校の出張展示で本が借りられないということであった

	が、子どもがカードを持っていけば借りられるのではないか。取りに行けないからということであろうか。
	通常のラブック号は借りても次の月にもう一度同じ場所に行くので返却ができるが、学校への出張展示は繰り返し行かないから借りられないということか。
三浦社会教育主事	小規模校でそういった貸し出しをしているのだが、大規模校では人数的なこととかあるのかもしれない。
石本教育長	大規模校は子どもが全員カードを持っていないのかもしれない。小規模校でラブック号が定期的に来るところは、学校が申請して子どもが全員カードを持っているということかもしれない。
金本委員	だいたい小学校2年生で図書館見学があるのでその時には作るのでは。
石本教育長 各委員	また自分で確認する。その他はよろしいか。 特になし。

#### 4 その他

##### (1) 平成30年度浜田市市民憲章推進大会の開催について（お知らせ）

（資料13）

日ノ原係長	教育委員会とは関係のないものであるが、今回ご案内させていただいた理由について、資料16の裏面をご覧ください。今回の浜田市市民憲章表彰者一覧表ということで、この中に教育委員会関係の方がおられたので今回ご紹介させていただく。 まず、浜田市体育協会の関係で3番吉川さんと4番桑本さんである。浜田市公民館連絡協議会ということで6番酒井さん、7番中島さん、10番山崎さんが表彰予定者になっている。こういった表彰式が11月25日（日）にしまね映画塾の前に行われるということで、情報提供させていただく。
石本教育長	参加も可能であるか。
日ノ原係長	可能である。
石本教育長	資料に参加協力依頼人数5人と書いてあるが。
日ノ原係長	申し訳ない。これは事務局側の動員人数である。
石本教育長	これは石央文化ホールの小ホールで行い、映画塾へ流れてもらうという考えでいる。あまり大人数だと入れない。
古森課長	教育長以外に4人動員しますので、そこと入れ替わってもらったら入れる。
石本教育長	承知した。

日ノ原係長 | 動員は教育長と佐々木部長、映画塾に行かれる文化振興課の外浦課長と山本係長、それから生涯学習課の村木課長である。

(2) 平成 30 年度教育委員研修について

日ノ原係長 | 今回が投げかけという形でさせていただき、11月の定例会で改めてお話をさせていただく。昨年度、コミュニティ・スクールの視察ということで、1月19日に山口県長門市へ行った。昨年度からこういったものを始めているのだが、今回平成30年度の教育委員の研修で、どういった内容を視察に行きたいか、どういったところに行きたいかということをして11月の定例会で改めてお聞きしたいという形のものである。

昨年度と同様に、日帰りで行ける範囲内で大きめの公用車を使用してということになったので、中国地方までかというところではあるが、日帰り公用車で行ける範囲のところ、視察研修という形を想定している。

次回の定例会で教育委員方から視察内容の希望について教えていただき、こういうところでこういう研修がしたいというのが一番良いが、もし場所は決められなくてもこういった研修がしたいという様なテーマだけでも構わないので、11月の定例会の中で出していただき、その中で1つに絞って決めていくことができばと思う。

この件についても遅くなって申し訳ないが、例年でいくと1月くらいのところ、実際に視察へ行くことになるのかと考えている。

石本教育長 | ではまたこの件については、1週間前の資料送付をする時に11月の定例会で協議するというを書きしておく様に。

日ノ原係長 | 承知した。

石本教育長 | では11月の定例会の中で教育委員方の研修の内容等について協議したいと思うので、ご希望等があればお知らせ願う。

(3) その他

石本教育長 | 何かあるか。

日ノ原係長 | 事務局は特になし。

石本教育長 | 委員方から連絡や報告事項はあるか。

各委員 | 特になし。

次回定例会日程

定例会 11月21日（火）13時30分から 北分庁舎2階会議室1

次々回定例会日程

定例会 12月17日（月）13時30分から 浜田公民館第1、2研修室

16:54 終了